

# 日本医師会及び日本獣医師会の連携と貢献について

日本医師会  
感染症危機管理対策室長・常任理事  
小森 貴

# 日本医師会感染症危機管理対策室

# 感染症危機管理対策室

危機管理の観点から、各種の感染症に対して迅速かつ適切な対策を講ずることができる体制を整備するため、O157事件をきっかけに、平成9年に感染症危機管理対策室を設置

- ・ 都道府県医師会、郡市区医師会、会員に対する情報提供
- ・ ポスター、冊子等啓発資料の作成
- ・ 子ども予防接種週間の実施
- ・ 感染症・食中毒情報の配信
- ・ 予防接種・感染症危機管理対策委員会

国の審議会の検討事項や新興・再興感染症の問題など、その時々に応じた課題に対する検討


# 日本医師会の感染症危機管理対策

## ・ エボラ出血熱 ・ MERS

ホームページ、FAX等による迅速かつ正確な情報提供、資料提供  
国内発生に備えた医療体制等に関して国と協議

西アフリカへの渡航歴はありますか？

ギニア、シエラレオネに、  
過去1か月以内に渡航された方は、  
**必ず**お申し出ください。



西アフリカでのエボラ出血熱の発生が続いています

皆様のご協力をお願いいたします

西アフリカでのエボラ出血熱の発生が続いています

西アフリカへの渡航歴はありますか？



ギニア、シエラレオネに  
過去1か月以内に  
渡航された方は、  
**必ず**お申し出ください

皆様のご協力をお願いいたします

厚生労働省 日本医師会

# エボラ出血熱。

西アフリカへの渡航歴はありますか？

**AFRICA**

西アフリカでエボラ出血熱の発生が続いています！  
過去1か月以内に

- ギニア
- シエラレオネ

の滞在歴があり、発熱した場合は、  
**医療機関を受診せず、**  
最寄りの保健所にご連絡下さい。

**！ 阻止しよう エボラ出血熱感染**

エボラ出血熱に関する情報はこちらをご覧ください。

厚生労働省 | 日本医師会

日本医師会 厚生労働省

# 韓国等で中東呼吸器症候群 MERS が発生しています！



中東諸国や韓国へ『滞在歴があり、入国もしくは帰国後14日以内に、  
**発熱や咳などの呼吸器症状がみられた方は、**  
受付で**必ず**お申し出ください。

**皆様のご協力をお願いいたします。**

中東呼吸器症候群(MERS)に関する情報はこちらをご覧ください。 | 日本医師会 | 厚生労働省

# 国際的に脅威となる感染症



# 最近話題となった主な感染症

世界

1981 AIDS (米国初確認)

1999 ウエストナイル熱 (米国)

2014 エボラ出血熱 (西アフリカ)

1996 狂牛病BSE (英国)

2005 高病原性鳥インフルエンザ H5N1

2015 MERS (韓国)

2002 SARS

2009 インフルエンザH1N1

2016 ジカ熱

国内

1985 AIDS (日本初確認)

2000 口蹄疫 (宮崎県)

2014 デング熱

2001 狂牛病BSE (千葉県)

2013 重症熱性血小板減少症候群 SFTS

1996 O157

2007 麻しん (高校・大学生)

1985

1990

1995

2000

2005

2010

2015

One Healthを考える  
～日本医師会の活動・日本獣医師会との連携～



# 日本医師会 日本獣医師会 学術協力の推進に関する協定を締結

平成25年11月20日

国民の間では高病原性鳥インフルエンザをはじめとする多くの人と動物の共通感染症の流行制御への関心や食品の安全性確保に関する意識が高まっており、医師と獣医師が緊密に連携し、安全で安心な社会を構築することが求められている。

今回の協定は、2012年に世界医師会と世界獣医師会が動物由来感染症対策、食の安全の向上等に向けた協力関係を構築する覚書を締結するなど、昨今の社会状況に鑑み、両者が連携並びに協力関係を強化することを目的に締結したもので、

協定書の基本事項には、

1. 医療及び獣医療の発展に関する学術情報を共有し、連携・協働する
  2. 両者が必要とする学術情報を可能な限り相互に提供する
  3. 両者による課題別及び体系的活動の推進を図る
  4. 全国レベル並びに地域レベルにおける医師及び獣医師の交流を促進する
- が掲げられている。



# 日本医師会、日本獣医師会 連携シンポジウム

第1回 「人と動物の共通感染症を考える ～狂犬病の現状と対策」  
(平成26年10月28日 日比谷公会堂)

第2回 「人と動物の共通感染症を考える (Ⅱ)  
～ダニが媒介する感染症の人への健康危害」  
(平成27年2月15日 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(岡山))

第3回 「越境性感染症の現状と課題」  
(平成27年11月6日 日本医師会館)

第4回 「One Healthを考える」  
(平成28年2月27日 日本獣医師会獣医学術学会年次大会(秋田))

第4回 日本医師会・日本獣医師会による連携シンポジウム

# 「One Health を考える」

開催期日：平成28年2月27日（土） 9:00～12:00

開催場所：秋田キャッスルホテル（秋田県秋田市中通1-3-5）

平成27年度日本獣医師会獣医学術学会年次大会（秋田）会場

開催内容：

- (1) 「WVAの活動戦略（世界戦略）とその期待」
- (2) 「FAVAの活動戦略（アジア戦略）とその期待」
- (3) 「日本医師会の活動戦略」
- (4) 「日本獣医師会の活動戦略」

Johnson Chiang (WVA)  
Achariya Sailasuta (FAVA)  
横倉義武（日本医師会会長）  
藏内勇夫（日本獣医師会会長）

# One Health

2015年5月には、世界獣医師会・世界医師会共催「One Healthに関する国際会議」がスペインのマドリードにおいて開催された。その場において、医師と獣医師の協力の取り組みとして、日本医師会と日本獣医師会との間で学術協力の推進のための協定書を締結したこと等を紹介するとともに、今後ますます医師と獣医師とが“One Health”の理念を共有し、連携を強固なものにしていかなければならないと表明している。

WHO（世界保健機関）が世界行動計画（Global action plan）を2015年5月に採択し、「ワンヘルス」の理念に基づき、他の国際機関と連携して薬剤耐性菌対策を進めるとしているが、これらの動きに連動した取り組みを両者が協力して推進していくことも必要と思われる。

# 第1回世界獣医師会・世界医師会 "One Health"に関する国際会議 WVA-WMA Global Conference on One Health (GCOH)

2015年5月21・22日 スペインマドリード

「“One Health”に向けての牽引者たち—医師と獣医師間の協力の強化—」をテーマに、医師、獣医師、学生、公衆衛生担当官、NGOそして世界各地からの参加者が“One Health”の概念の重要な側面を学び、議論することを目的として開催



# 第2回世界獣医師会・世界医師会 "One Health"に関する国際会議 WVA-WMA Global Conference on One Health (GCOH)

2016年11月10・11日 福岡県北九州市小倉

WVA-WMAは、第1回GCOHの成功を受け、“One Health”の理念の持続的な普及推進を図るため、医師会・獣医師会の連携成功のモデルである日本医師会・日本獣医師会に対し、第2回GCOHの日本での開催を要請

日本医師会・日本獣医師会は、WVA-WMAの要請を受けて協議の上、「人と動物の健康と環境の保全を推進するため、それぞれに関係する医師、獣医師等の専門家が緊密な協力関係を構築し、一体で取り組む必要性があるとする

“One Health”の理念を国際的に普及・推進すること」を目的として、第2回GCOHを開催することを決定

# One World One Health



動物と人の健康は一つ  
そしてそれは地球の願い

ご清聴ありがとうございました

